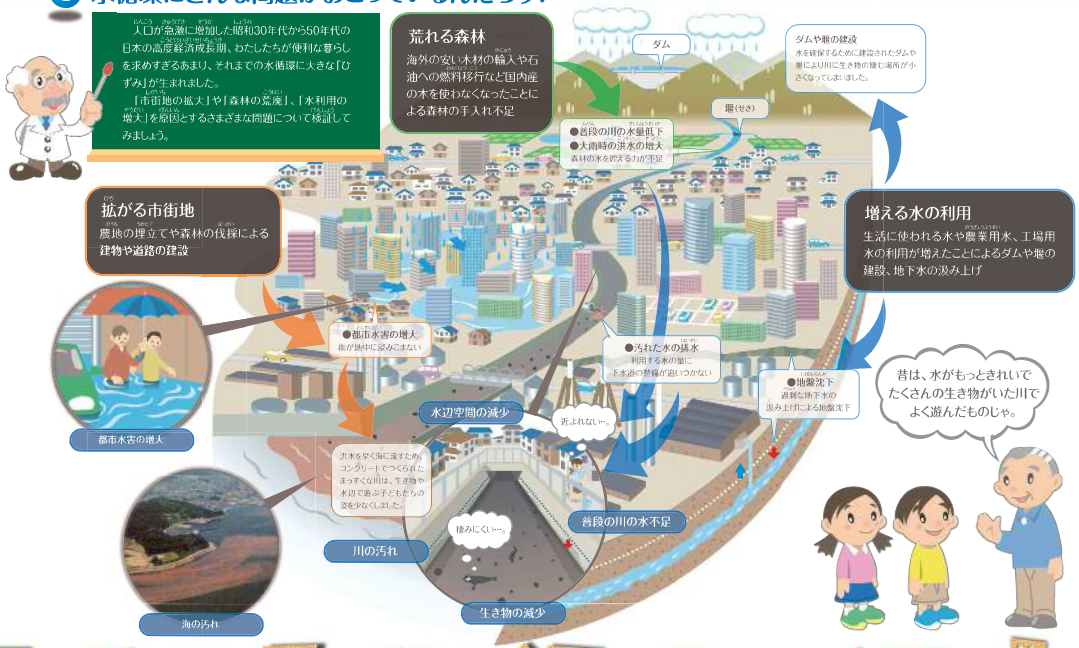
3 水循環にどんな問題がおこっているんだろう?

人口が急激に増加した昭和30年代から50年代の日本の高度経済成長期、わたしたちが便利な暮らしを求めすぎるあまり、それまでの水循環に大きな「ひずみ」が生まれました。
「市街地の拡大」や「森林の荒廃」、「水利用の増大」を原因とするさまざまな問題について検証してみましょう。

荒れる森林
海外の安い木材の輸入や石油への燃料移行など国内産の木を使わなくなったことによる森林の手入れ不足

拡がる市街地
農地の埋立てや森林の伐採による建物や道路の建設

増える水の利用
生活に使われる水や農業用水、工場用水の利用が増えたことによるダムや堰の建設、地下水の汲み上げ



4 健全な水循環をとりもどすために

健全な水循環をとりもどすためには、森林から海まで流域全体を考えて、県民、事業者、民間団体、行政が手に手をとりあって、長い間取り組んでいくことが大切です。
「水循環再生地域協議会」では、①きれいな水、②豊かな水、③いろいろな生き物が棲める水辺、④ふれあえる水辺の4つの点から、取り組みを進めています。

①「きれいな水」にするために
きれいな水にするために、下水道の整備や合併処理浄化槽の整備など、さまざまな取り組みをしています。

下水処理のしくみ

②「豊かな水」にするために
水を貯えるため、森の手入れや和んぼやため池を保全します。
また、水を地中に染みこませるため、透水性舗装の歩道にするなどの取り組みをしています。

③「いろいろな生き物が棲める水辺」にするために
川や海の生き物が棲みやすいように、自然のたくさんある川や海づくりなどの取り組みをしています。

④「ふれあえる水辺」にするために
みんなが水辺に近づき、遊べるようにするため、川岸に階段をつくるなどの取り組みをしています。